



© 小林正典

認定NPO法人
幼い難民を考える会
 CYR CARING FOR YOUNG REFUGEES

2010年3月
 NO.93

Children, Our Future

子どもたちの明日

目次

コッコン州全公立幼稚園、先生たちの集合保育研修 1日密着レポート	2
カンボジア教育省への提言文	4
働く卒園児の今 ミエ・ナロアさん	5
CYR設立30周年企画スタート	6
～連載～ 給食レシピ④「カリフラワーの炒め物+ごはん」	8

幼い難民を考える会（CYR）は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめいに生きようとする姿に触発され、1980年に組織されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。





外はまだ真っ暗



5:30 起床&支度



6:45 ゲストハウス出発



移動はバイクで!



7:00 市場で朝食

メニューは鶏肉ごはん
お米がいちばんおなかいっぱいに



11:00~14:00 昼食

朝、市場で買ってきたお弁当
メニューは牛肉ごはん
交通費を節約するため、外食はしない



14:00~17:00 教材の使い方を学ぶ



17:00 研修を終えてく
もらった教材・遊具を手に

シム・リヤー先生(30)

地域には子どもがたくさんいます。
研修では、教材の使い方を丁寧に教えてもらえて
嬉しかったです。CYRは、細やかな部分まで真剣に
子どものことを考えてくれていると感じました。新しい
教材があるのは本当に助かります。
子どもたちはもっと学べるし、幼稚園が好きになります。
ご支援いただいたみなさまに感謝しています。



研修の翌日、幼稚園を訪問すると・・・
教材・遊具がしっかり並んでいました!

CYRの教材は、絵が大きくて、とてもきれいです。
どれも今まで見たことがありません!!
特に人形は初めて見ました。カラフルで
子どもたちが注目するでしょう。どれも教え
やすいし、子どもたちにとっても分かりやすい
と思います。



公立幼稚園を応援!
 コクコン州全公立幼稚園、先生たちの集合保育研修
 1/8～10(全3日間)

1日密着レポート



8:00～9:00 遊具の使い方を学ぶ

ボールを使って「ボール送りゲーム」を体験
 初めて見る遊具に先生たちは大盛り上がり!



9:00～11:00 遊具の作り方を学ぶ

ボールを縫う先生たち
 カラフルな布を手にしておしゃべりもはずむ



最終日)
 みんなにっこり♪



教材・遊具は全部で22種類



17:10 自分たちの手で持ち帰る

袋詰めされた教材・遊具
 自転車やバイクに積んで持ち帰る。船やバスを使って
 遠くから来た先生たちにはひと苦労

ガエ・ソコン先生(39)



CYRは、カンボジアの幼児教育について、30年間にわたって取り組んできました。2004年に始めた公立幼稚園の支援からは、カンボジアの一般的な幼児教育現場の課題が分かかってきています。解決には、現地政府の理解が必要です。これまで見てきた問題点をまとめ、提言文としてカンボジア教育省等に提出しました。一部を抜粋してお伝えします。

【政策に関する問題点】

幼児教育の現状を見ると、教育施設の未整備、保育者の絶対的な不足など教育環境的なインフラの不備が浮かび上がってきた。これには時間的、予算的問題が関係しているので、すぐに改善することが難しいのは理解できる。しかし、教育政策の充実、保育者が安心して仕事ができるような公務員の生活基盤の安定をはかる政策を、保育関係者にも適用すべきと考える。地域格差を助長しかねない保育者の配置の問題や、3歳児・4歳児への予算処置の問題には、早急に対処されたい。

つぎに、保育関係者のネットワーク作りの有効性と必要性を痛感する。現状では、保育関係者にとって、他の保育施設の教育指導法や成果などを実践から学ぶ機会ほとんど無い。研修の機会を通じて保育関係者が交流することは、互いの実践内容についての理解を深め、刺激し合い、相乗的な効果が期待できる。幼稚園、学校、郡、州レベルでの連携強化は、効率的に保育関係者の育成、教育の充実にかかわることであり積極的に推進されるべきである。

【保育現場の問題点】

CYRでは、単に教具教材を配布するのではなく、その目的や使い方を保育者が理解し、保育ですぐに使えるよう保育者も教具教材で遊ぶことに重きを置いた。教具教材には、それが作られた目的があり、その目的に沿って使い方も方向付けられる。手やからだを使って教具教材とかかわりながら自ら考え、判断して、選択し、決定するプロセスの繰り返しの中で、子どもは興味を示し、自信を持って、意欲的にものごとに関わっていく力を養っていくであろう。そのことの大切さを保育関係者に体験的に伝えるようにした。

乳幼児期は人生の中で飛躍的に発展する心身ともに重要な時期であり、ことに幼児期の教育を担う幼稚園の役割は大きい。その際、幼稚園は学校教育への導入機関として、もっぱら勉強中心になるのではなく、遊びを通して、人間の基礎作り、豊かな未来の創造のための礎づくりをする機関であってほしい。CYRが支援できる教材教具には限りがあるので、それを見本として手作りで補充したり、地元で入手可能な安価な教材を提供して活用したりすることによって教育効果をあげることが出来よう。

しかし、これらを可能にするためには、保育関係者の研修が不可欠である。残念ながらCYRが配布した教具教材も、保育者の意識の違いによって、子どもの理解が異なることを、フォローアップで確認している。今後、保育者の意識を高めるためには、各地域で指導者も参加した技術会議の開催と共に教材製作を継続的に実施し、一方では、保育者の実践を見学し学びあい、子どもの側に立った実践へと保育内容を高めていくことが求められる。それは、初等教育への速やかな導入を図るだけでなく、幼児期から学童期への潤滑な移行につなぐことになり、幼児期の豊かな育ちに、確かな未来が約束されると確信する。

働く卒園児の今

CYRが保育所を開いて18年。
卒園した子どもたちは、今どうしているのでしょうか？

ガードマンとして働く

大学へ行きたかったけれど、兄弟が多くて学費を払う余裕がないので、まずは働くことにしました。特技や経験がなく、仕事を見つけるのは大変でした。本当はレストランで働きたかったけれど、英語ができないために断られてしまいました。

今はガードマンの仕事をしています。この仕事でお金を稼ぎながら、短期の専門学校に通うつもりです。英語とパソコンを勉強して、もっと良い仕事に就きたい。



ミエ・ナオアさん 23歳

バンネアン保育所卒園

家族構成と仕事、収入

父：農業
母：農業
姉：家事
姉：家事
姉：魚売り
兄：大学3年生(学費自己負担)
本人：ガードマン

どんな仕事？

内容：会社のガードマン
勤務日：毎日(休みなし)
勤務時間：14:00-22:00
収入：55ドル/月

嬉しいことは？

会社からほめられる時。一生懸命働いているので、次から給与が60ドルに上がると言われました！

大変なことは？

時間もお金もないので満足に食べられないこと。
帰りが夜遅いので、ギャングに襲われないか心配です。
※22時に終わった後、自転車で家に帰る



お母さんから一言

「体があまり強くない子ですが、がんばってほしい」



保育所、ボラー先生から一言

「子どものころは、おとなしくていい子でした。
勉強を続けるためにがんばっていることを、
ほめてあげたいです。」



30th Anniversary

お申込み先

(特活)幼い難民を考える会(CYR)

TEL: 03-3943-6971

FAX: 03-3943-6973

E-mail: info@cyr.or.jp

目標
1,000人



月いち募金 大募集

毎月 1,000円から
自動引落で寄付ができます

お申込み方法

同封の月いち募金チラシの裏面(お申込書)にご記入いただき、ご返送ください。

限定
200枚



Tシャツ発売

¥2,000(税込)

Sサイズ : 身丈66、身幅49、袖丈19

Mサイズ : 身丈70、身幅52、袖丈20

Lサイズ : 身丈74、身幅55、袖丈22

CYRキャラクター 名付け親 募集

男子、女子に
それぞれ名前をつけてください

※切: 4月末

キャラクター名は、5月29日(土)CYRの
イベントで発表します

*CYRホームページでは、6月1日(火)から発表

2010年2月17日、CYRは設立30周年を迎えました。

みなさまのあたたかいご支援に心から感謝申し上げますと共に、
30周年を記念した様々な企画を行います。
ぜひご参加ください。

各企画の詳細は、同封のチラシをご覧ください

写真集発売

「カンボジア

子どもたちとつくる未来」

※写真で見る国際協力の30年

¥2,000(税込)

編者:(特活)幼い難民を考える会

写真:小林正典

発行:毎日新聞社

サイズとページ数:B5版/127ページ

発行日:2010年1月30日



限定
1,500冊

難民キャンプでの活動から、復興後の幼児教育や
女性の自立を支援してきたCYRの30年を追う
フォト・ドキュメンタリーです。

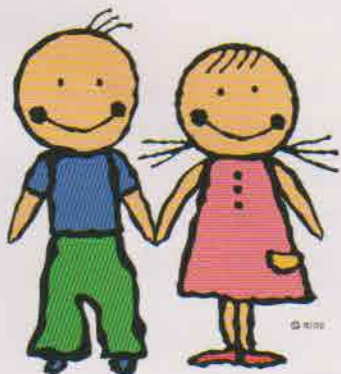


マスコットロード

みんなで買って、
カンボジアの女性をハッピーに!

3,000個を達成すると、マスコットを作っている40人の女性たちが、
子どもを学校に通わせることができます。

目指せ
3,000個



マスコットロードとは?

Step 1

マスコットを買う



Step 2

買った数だけ
地図にシールを貼る



Step 3

3,000個貯まると
日本とカンボジアがつながる



マスコットは、カンボジア手織り布ショップ ラタナ(CYR事務局内)でお買い求めいただけます

給食レシピ④

カリフラワーの炒め物+ごはん

カンボジアの子どもたちが食べている給食のレシピを、連載でご紹介します。
ぜひ作ってみてください♪



カリフラワーの炒め物+ごはん

材料 (5人分)

豚肉	120g
ニンジン	半分
カリフラワー	10房
にんにく	1かけ
油	小さじ1
やし砂糖	小さじ1
塩	少々
魚醤	少々
(ナンプラー)	
味の素	少々
水	少々

■ 下準備

1. 豚肉を食べやすいサイズに切る
2. ニンジンを小さく切る
3. カリフラワーを小さく切る
4. にんにくをみじん切りにする

■ 作り方

1. サラダ油を熱し、にんにくを炒める
 2. 豚肉を加えて炒める
 3. やし砂糖、塩、ナンプラーを入れる
 4. ニンジン、カリフラワーを加えて更に炒める
 5. 水を加える
 6. ごはんにかけて、できあがり
- ポイント: 野菜は柔らかくなるまで炒める



カンボジアには、給食が提供される幼稚園・小学校はほとんどありません。CYRは、子どもたちの成長を支えるメニューを考えています。今年度は、調理担当の方や先生たちを対象に、栄養ワークショップを開いています。給食を開始した当初は、砂糖と塩を大量に入れる習慣がありましたが、今では食材から味が充分にでることも理解されました。子どもたちにも好評です。

このメニューは、1人分、約20円！みなさまからの給食募金で作られています。

CYRの活動を支援してください

年会費 正会員 ¥10,000 学生会員 ¥3,000 団体会員 ¥30,000

下記の口座にご送金ください。

■ 郵便局 No.00110-8-36227 (特活)幼い難民を考える会

■ 銀行 三菱東京UFJ銀行六本木支店 (普)No.1351747 特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

※CYRは認定NPO法人です。5,000円を超えるご寄付は寄付金控除の対象となります。



〒112-0013 東京都文京区音羽1-10-4 池田ビル3F
TEL: 03-3943-6971 FAX: 03-3943-6973
Email: info@cyr.or.jp URL: http://www.cyr.or.jp

子どもたちの明日93号

◆発行日:2010年3月5日

◆発行人:深水正勝